

## お父さんの黒いブーツ

鹿児島県 霧島市立天降川小学校 四年

原田 梨央はらだ りお

わたしは、お父さんに少しふまがあります。それはお父さんの足がとてもくさいことです。仕事から帰ってくると、びっくりするくらいくさいです。足だけでなく、くつがとてもくさいのです。そのくつの正体は、自えい隊のブーツでした。

わたしのお父さんは、自えい隊ではたらいっています。大雨や台風の時、大雨けいぼうがでると、休みの日や夜中でも自えい隊に行つてはたらいっています。お父さんは、毎日天気よほうを真けんに見ています。雨がふりだすと、お父さんのスマホから色いろな音のアラームがなつて、とてもさわがしくなります。いつも土曜日や日曜日になると、大雨がふつてしまうので、お父さんと遊びに行こうとやくそくしても、朝起きたらお父さんが仕事に行つていて、いないこともあります。そんな時は、とてもさみしくなり、がっかりします。でもお父さんは、つかれて帰つてきて少しでも時間があつたら公園につれて行つてくれたり、本屋さんにもつれて行つてくれるやさしいお父さんです。この前、仕事から帰つてきたお父さんに、「お父さん、足がくさいよ」と言つたらお父さんは「梨央は学校に行つ

たら中ばきのくつにはきかえたりするけど、お父さんはね、家のげんかんでブーツをはいたらずつとぬがないで1日中あのブーツをはいて仕事をするんだよ。スニーカーみたいに空気を通すあながないからとても暑くて大変なんだよ。」と教えてくれました。そして「そのブーツはつま先にうすい鉄の板が入つていて、もし重い物が足の上に落ちてきても、足を守つてくれるブーツなんだよ。」と言つていました。お父さんのブーツを持つてみると、わたしのスニーカーよりもずつと重く、ずつしりとしていました。この重いブーツをはいて、重い荷物を持つて、何十キロも歩くこともあるそうです。お父さんはすごいなと思いました。

お父さんは休みの日に仕事に行つたり何日も帰つてこれないときがあつたりするけど、みんなの命を守る仕事をしているので、お父さんの足や、ブーツがくさくさしても、お仕事をがんばっているしよこなんだと思つて、これからもずつとおうえんしていきたいと思います。今は黒いブーツがかがやいてみえます。お父さんとがんばつてくれて、ありがとう。